真田みつお宣言

びんご府中復興プロジェクト～第２章～

私は、前回の選挙で**１２２の政策**を掲げました。
それは、すべてを一度に実現できると考えたからではありません。
人口減少や高齢化、産業、医療、暮らしの不安。
府中市が抱える課題を正直に見つめ、市民の声を一つひとつ政策にする。
その思いで、課題をそのまま書き出しました。

１２２の政策は、私の成果のリストではありません。
府中市が抱える課題の「地図」です。

１期目の４年間で実現できたこともあれば、途中まで進んだもの、
制度や財政の壁にぶつかったものもあります。

しかしそれは、失敗ではありません。**次の挑戦に進むための大切な学びです。**

２期目は、**やったことをさらに深め、できなかったことに挑戦する４年間。**

かつて府中が持っていた
「人が集い、文化が育ち、挑戦が生まれるまち」
その誇りを、現代の形で取り戻します。

私はこれからも、現実から逃げず、誠実に、一歩ずつ進み続けます。

【 地域で育ち、地域で働き、地域に恩返し 】

真田 光夫（さなだ みつお）

1963年　広島県府中市生まれ　ENISHI代表。
出口保育所・広谷小・第二中・広島県立戸手商業高等学校卒業

繊維会社勤務後、飲食店経営・介護用品販売・保険代理店
経営コンサルタントなどを経験
中小企業支援・人材育成に携わる

2022年　府中市議会議員 初当選
・厚生委員会副委員長
・議会運営委員会委員
・広報広聴特別委員会委員

ＮＰＯ法人 いこるｄｅＢＩＮＧＯの活動を通じて、
漢字・数字・英語検定試験の実施や
「全日本ＥＶ＆ゼロハンカーレースｉｎ府中大会」など、
子どもたちの学びや、地域活性化の取り組みにも力を注いでいます。

座右の銘
「積小為大（小を積めば大となる）」
「Keep on going！（前に進み続けよう）」

地域の課題をチャンスに変え、
「人口が減っても強い府中」を目指し、挑戦を続けています。

お願い

看板設置・サポーター募集中
・看板設置
・後援会入会
・ＳＮＳフォロー
ご協力よろしくお願いいたします。

ご自宅や空き地、事業所などに
看板を設置させていただける方を募集しています。

お気軽に後援会事務所までご連絡ください。

真田みつお後援会事務所
〒726-0003　府中市元町439-13
TEL：0847-45-2810　FAX:0847-44-6096
https://www.sanadamitsuo.com/
E-mail：magokoro@pear.ccjnet.ne.jp

第１６号　令和８年３月
後援会討議資料

びんご復興プロジェクト
～第２章～

人口が減っても
強い府中へ

府中市議会議員
真田（さなだ）みつお

３つの挑戦

ひとづくり
安心して暮らせる府中へ
・子どもと若者を育てる
・医療と福祉を守る
・「挑戦する人」を増やす
（CSV企業）

まちづくり
暮らしを守り、未来に備える府中へ
・安心・安全な生活基盤
・人口減少に適応するまち
・共創のまちづくり
（CSV運動）

ものづくり
仕事と産業が生まれる府中へ
・地域企業の支援と挑戦
・交流人口を増やす
・財政を守り、未来へ投資

踏み出そう一歩 ―未来を切り開くため、勇気を持って前へ進む―

HP
QRコードを読み取って
もっと身近に！

1期4年の実績ベスト7
～公約122の中から実現した主な取り組み～

創生会の一員として取り組み、実現してきた主な成果です

☑子育て　保育料の無償化
・子育て世代の経済的負担の軽減を進めました。

☑医療　中学・高校まで医療費無料化
・子どもたちの医療費負担の軽減を進めました。
（所得制限等条件あり）

☑健康　市民プール整備
・健康づくりとスポーツ環境の充実を進めました。

☑教育　全学校にALT配置
・市立全学校にALTを配置し、英語教育の充実を図りました。

☑環境　プラスチックごみ回収を毎週へ拡充
・生活環境の改善と利便性向上を進めました。

☑デジタル　公共施設予約のオンライン化
・行政手続きのデジタル化を推進しました。

☑議会改革　議員定数削減・議員報酬削減
・議会改革を進めました。
（議員定数19名→18名）

市民の皆さまの声から実現しました!

府中市立図書館　駐車場整備

SPINGLE ウェルネスセンター

活動報告
詳しくはこちら＞＞

4年間の活動記録

**市民の声を市政へ届けるため、
現場に足を運び、
学び続ける活動を続けてきました。**

■ 情報発信
・活動報告（討議資料）
第15号まで発行
・ポスティング　約20,000軒
・インスタライブ　142回
※フォロワー1000名で再開予定
現在678名（あと322名）

■ 市民との対話
・街頭活動（辻立ち）240回
・みらいMTG　2回

■ 政策づくり・調査
・行政視察・研修　43回

■ 自己研鑽（政策研究）
・JIAM研修　18講座受講
・読書　125冊

■ 政治資金収支報告書
・ホームページに掲載

**これからも市民の声を大切にしながら、
現場の声を市政へ届け、
府中市の未来のために行動していきます。**

Topic 01　府中を元気に！若者を応援！文化を継承！

ものづくりが息づくまち 府中
全国から400名が集うＥＶレースを主催

第１７回 全日本
ＥＶ&ゼロハンカーレース in府中

東京・神戸・四国など全国から、ものづくりが大好きな「若者」と「元若者」が集まり、過去最大となる約400名が参加しました。
学生たちが自ら設計したマシンで挑戦する姿は、府中のものづくり文化の未来そのものです。これからも学生や若者の挑戦を応援し、ものづくりのまち府中をさらに発展させていきます。

学び続けられるまち 府中
検定試験を12年間開催、受験者約4000人

英語検定・漢字検定・数学検定
年３回開催

地元で検定試験を受けたい！という声から、2014年から検定試験を開催し、12年間で受験者は約4000人になりました。
幼児から高校生だけでなく、保護者や高齢の方まで幅広い世代が学びに挑戦しています。
府中市では「英語検定料助成金」により、児童・生徒の学びを応援しています。
（試験会場は、府中市生涯学習センター）

次世代へ継承するまち 府中
翁座で文化交流イベントを開催

翁座で歌舞伎公演と
文化交流イベント

翁座を舞台に、地域文化の魅力を発信し上下町の活性化につながるイベントを開催しました。
歌舞伎役者・市川九團次さん、日本舞踊家・孝藤右近さんを迎え、会場は多くの方でにぎわい、大変盛況な催しとなりました。
地域文化の大切さを再認識し、次世代へ継承する意義深い一日となりました。

Topic 02　スポーツでまちを元気に！
府中で活動する女子サッカーチーム「スフィーダ備後府中ＦＣ」へインタビュー

Q. サッカーを始めたきっかけは？
父が今も現役でサッカーを続けており、その影響で幼い頃からボールを蹴っていました。
周りの大人たちと一緒にプレーする中で、サッカーの楽しさを知りました。

Q. スポーツがまちに与える影響は？
頑張っている姿は、プロの試合を見るのと同じように、人々に勇気や感動を与えられるものだと信じています。
だからこそ、真剣にプレーする姿を見てもらいたいです。

Q. サッカーをしている子どもたちへのメッセージ
とにかく練習あるのみ。やればやるほど伸びます。『サッカーが大好き』という気持ちを大切に、ボールを追いかけ回してほしいです。

【私の想い】
スポーツに真剣に取り組む姿は、多くの人に勇気や元気を与えてくれます。
これからもスポーツを通じて、府中のまちを元気にしていきたいと思います。

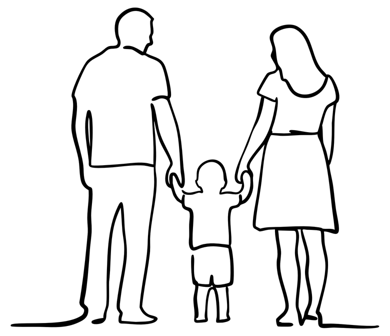
Topic 03　子どもが安心して育つまち府中へ
府中で子育てする家族の声

Topic02、Topic03
インタビュー全文
続きはこちら＞＞

Q. 子どもが生まれて生活はどう変わりましたか？
子どもが生まれてから、生活の中心が子どもになりました。忙しさは増えましたが、家族で過ごす時間の大切さや、日常のありがたさをより感じるようになりました。

Q. 府中で子育てして良いと感じるところは？
０歳から保育園に無料で通える制度は本当に助かっています。
安心して遊べる場所もあり、子どもがのびのび過ごせる環境があるのは府中の良さだと思います。

Q. 子どもにはどんな府中で育ってほしいですか？
安心して毎日を過ごしながら、のびのび成長できるまちであってほしいです。
周りの人に見守られながら、いろいろな経験ができる環境があると嬉しいです。



【私の想い】
子育て世代の声を大切にしながら、子どもが安心して育つ
府中のまちづくりに取り組んでまいります。